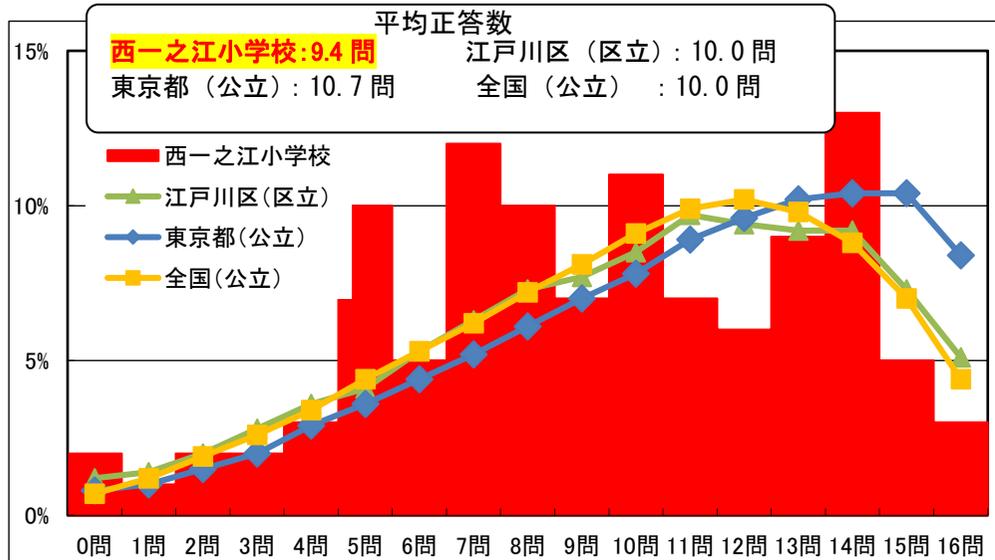


# 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 西一之江小学校

## 正答数分布



## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

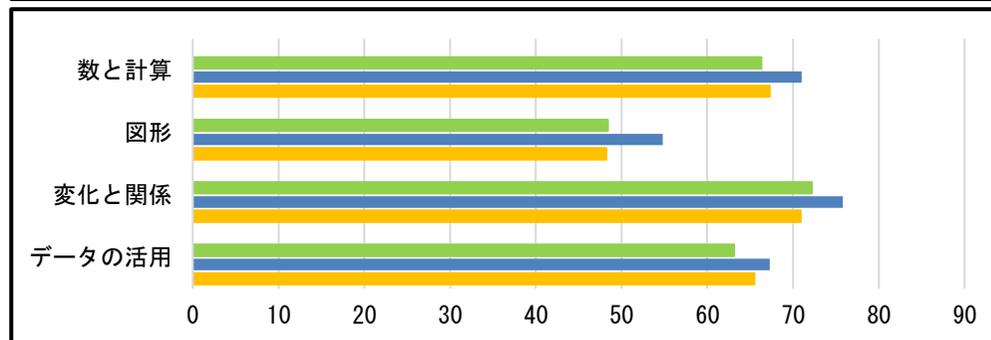
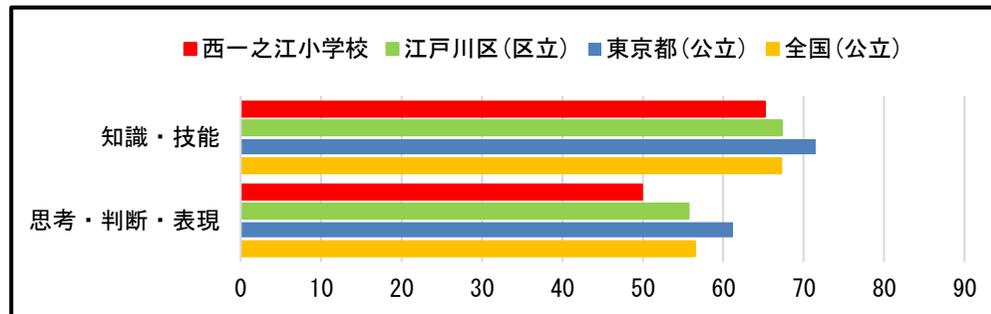
算数	上位 ← → 下位			
	A層 14~16問	B層 11~13問	C層 8~10問	D層 0~7問
<b>西一之江小学校</b>	<b>19.4</b>	<b>20.4</b>	<b>25.9</b>	<b>34.3</b>
江戸川区(区立)	21.6	28.3	23.5	26.6
東京都(公立)	29.2	28.7	20.9	21.2
全国(公立)	20.2	29.9	24.4	25.5

## 【平均正答率の差】

<b>西一之江小学校</b>	<b>59%</b>
江戸川区(区立)	62%
東京都(公立)	67%
全国(公立)	62.5%
都との差	<b>8ポイント</b>

%

## 「領域別」の結果



## 【分析結果と授業改善に向けて】

- 正答率は、各平均を下回り、四分位における割合では、D層が特に多い構成になっている。
- 領域別では、知識・技能、思考・判断・表現ともに平均を下回り、思考・判断・表現は、大きく下回っている。
- グラフは正規分布になっていない。ばらつきが大きい。  
 ⇒5年生までの既習学習について、レディネステストを活用して、振り返る時間を確保する。  
 ⇒児童相互の学び合いを意識し、A層児童が、活躍できる授業展開を工夫しながら、C、D層の児童が自信をもって学習に取り組める習熟度別学習を充実させる。  
 ⇒学びを生活の場面で活かす工夫や多様な考え方がある問題に取り組むことで、自分の考えをもって活動することのよさを気づくことができるよう指導する。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。